

## 6 月 29 日からの大雨に関する被害状況等について（第 14 報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

### 1 気象状況 気象庁発表（7/10 6:00 時点）

- 6 月 28 日から 7 月 9 日にかけては、活動の活発な梅雨前線や上空の寒気の影響で、沖縄地方を除いて全国的に大雨となった。1 日には山口県で、2 日には鹿児島県（奄美地方）で、3 日には熊本県で、8 日には島根県で、線状降水帯が発生した。
- 7 月 1 日から 3 日にかけては、九州北部地方や九州南部・奄美地方では、1 時間降水量が 80 ミリ以上の猛烈な雨を観測したところがあった。また、6 月 28 日から 7 月 9 日の総降水量は、九州北部地方で 1000 ミリを超え、九州南部では 800 ミリを超えた地点があった。九州北部地方を中心に平年の 7 月の月降水量を超えた地点があった。
- 梅雨前線は、西日本から東北地方付近にのびており、前線は、引き続き 11 日にかけて西日本から東北地方付近に停滞する見込み。
- 現在、九州北部地方で猛烈な雨が降っており、10 日明け方には、福岡県、大分県、佐賀県で線状降水帯が発生した。西日本から東北地方では、11 日にかけて雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り、大雨となる見込み。西日本から東北地方では、これまでの大雨により地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。
- 土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- 梅雨前線は、12 日以降も日本付近に停滞する可能性があるため、今後の気象情報に留意。

### 2 体制等

- 非常体制：本省、九州地整、九州運輸、気象庁
- 警戒体制：中国地整、国総研、国土地理院
- 注意体制：北陸信越運輸、中国運輸、

### 3 一般被害情報（消防庁 HP 7/9 11:00 時点）

- 人的被害
  - ・死者 1 人（山口 1）
  - ・行方不明者 2 人（山口 1、大分 1）
- 住家被害
  - ・全壊 4 棟（愛媛 2、福岡 1、大分 1）
  - ・半壊 39 棟（愛媛 37、福岡 1、長崎 1）
  - ・床上浸水 393 棟（岐阜県 1、山口 383、熊本県 8、鹿児島 1）

- ・床下浸水 761 棟（新潟 1、石川 5、長野 2、岐阜県 2、島根 2、広島 2、山口 702、愛媛 2、熊本 23）

#### 4 被害情報等

##### (1) 河川（7/10 7:30 時点）

22 水系 37 河川にて氾濫。

##### ○国管理河川（4 水系 6 河川）

- ・7 月 10 日未明からの大雨により、筑後川水系小石原川、城原川、巨瀬川、松浦川水系徳須恵川、山国川水系山国川で氾濫が発生（詳細確認中）。
- ・7 月 9 日以前の大雨については、佐波川水系佐波川の霞堤部にて農地浸水あり（概ね解消）。
- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

##### ○都道府県管理河川（19 水系 31 河川）

9 県（石川県、長野県、岐阜県、島根県、山口県、愛媛県、福岡県、熊本県、鹿児島県）において、19 水系 31 河川で氾濫に伴う浸水被害が発生。

このうち

- ・7 月 8 日以降の大雨については、島根県と山口県において、4 水系 8 河川で氾濫に伴う浸水被害が発生（詳細は確認中）。山口県管理の神田川水系員光川では、堤防が決壊し、農地が浸水（応急復旧準備中）。
- ・7 月 7 日以前の大雨については、8 県（石川県、長野県、岐阜県、山口県、愛媛県、福岡県、熊本県、鹿児島県）において、15 水系 23 河川で氾濫に伴う浸水被害が発生（概ね解消）。山口県管理の栗野川水系栗野川では、堤防が決壊し、農地が浸水（応急復旧完了）。
- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

##### (2) ダム（7/10 6:30 時点）

##### ○洪水調節（事前放流を含む）を実施 125 ダム

125 ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 39 ダム

- ・事前放流を実施 20 ダム（うち、利水ダム 11）
- ・すでに事前放流の容量を確保 19 ダム（うち、利水ダム 16）

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

##### (3) 砂防

##### ○土砂災害（7/10 7:30 時点）

- ・90 件（神奈川 1、新潟 3、石川 7、長野 3、岐阜 3、島根 8、広島 3、山口 16、福岡 2、佐賀 1、長崎 2、熊本 14、大分 3、宮崎 3、鹿児島 21）

人的被害 死者 1 名（福岡県（添田町）1）

行方不明者 1 名（大分県（由布市）1）

負傷者 1 名（鹿児島県（日置市）1）  
人家被害 全壊 1 戸（大分県 1）  
一部損壊 11 戸（神奈川県 2、長野県 1、山口県 1、佐賀県 1、  
熊本県 1、宮崎県 2、鹿児島県 3）

○土砂災害警戒情報（7/10 6:30 時点）

17 県 183 市町村に発表（千葉県、新潟県、富山県、石川県、長野県、岐阜県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

※5 県 81 市町村で継続中（広島県、山口県、福岡県、佐賀県、大分県）

(4) 道路（7/10 6:30 時点）

○高速道路

被災による通行止め：2 路線 4 区間

E9 山陰道（出雲多伎 IC～大田中央・三瓶山 IC）【2 区間】：地すべりの恐れ

E10 東九州自動車道（椎田南 IC～中津 IC）【2 区間】：土砂流入

雨量基準超過等による通行止め：3 路線 12 区間

E3 九州自動車道（福岡 IC～筑紫野 IC）【5 区間】雨量基準超過

E34 長崎自動車道（鳥栖 JCT～東脊振 IC）【2 区間】雨量基準超過

E34 大分自動車道（鳥栖 JCT～日田 IC）【5 区間】雨量基準超過

○有料道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○直轄国道

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：1 路線 1 区間

国道 210 号（福岡県久留米市）：路面冠水

○補助国道

被災等による通行止め：2 路線 2 区間

国道 442 号（大分県日田市）：法面崩落

国道 445 号（熊本県山都町）：橋梁損傷（流出）

○都道府県道等

被災等による通行止め：11 県 56 区間

岐阜県 1 区間（法面崩落 1）

愛知県 1 区間（土砂崩れ 1）

島根県 9 区間（土砂崩れ 3、法面崩落 1、路面冠水 3、路肩崩壊 1、土砂流出 1）

※島根県の県道の全面通行止めにより 1 箇所が孤立が発生

岡山県 2 区間（落石 2）

広島県 1 区間（土砂流入 1）

山口県 21 区間（土砂流出 3、倒木 1、路肩崩壊 9、土砂流入 5、路面陥没 1）

		、落石 1、土砂崩れ 1)
愛媛県	<u>4</u> 区間	(土砂崩れ <u>3</u> 、路肩崩壊 1)
福岡県	<u>6</u> 区間	(路面冠水 <u>3</u> 、土砂崩れ <u>1</u> 、倒木 <u>1</u> 、舗装損傷 <u>1</u> )
熊本県	<u>8</u> 区間	(路肩崩壊 <u>5</u> 、土砂崩れ <u>1</u> 、法面崩落 <u>1</u> 、土砂流出 <u>1</u> )
大分県	<u>2</u> 区間	(法面崩落 <u>1</u> 、路面冠水 <u>1</u> )
宮崎県	<u>1</u> 区間	(路肩崩壊 <u>1</u> )

## (5) 鉄道 (7/10 6:30 時点)

### <新幹線>

【運転を見合せている路線】：1 事業者 1 線

JR西日本：山陽新幹線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

### <在来線>

【被災状況】

JR西日本

美祢線 橋梁倒壊 (1箇所)、複数個所で土砂流入等 (詳細調査中)

山陰線 橋梁傾斜等 (1箇所)、複数個所で土砂流入等 (詳細調査中)

JR九州 久大線 20 個所で土砂流入等

【運転を見合せている路線】：7 事業者 27 線

JR西日本：山陰線、美祢線、芸備線、福塩線、呉線、山陽線、岩徳線、山口線、宇部線、小野田線

JR九州：久大線、筑豊線、後藤寺線、日田彦山線、鹿児島線、筑肥線、唐津線

錦川鉄道：錦川清流線

西日本鉄道：天神大牟田線、甘木線、太宰府線、貝塚線

松浦鉄道：西九州線

甘木鉄道：甘木線

平成筑豊鉄道：田川線、伊田線、糸田線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

## (6) 航空 (7/10 06:00 時点)

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

30 日 欠航便 19 便 (JAL4 便、ANA1 便、その他 14 便)

1 日 欠航便 22 便 (JAL18 便、その他 4 便)

2 日 欠航便 10 便 (JAL8 便、その他 2 便)

3 日 欠航便 20 便 (JAL14 便、その他 6 便)

4 日 欠航便 4 便 (JAL2 便、その他 2 便)

5 日 欠航便 2 便 (その他 2 便)

- 7日 欠航便 3 便 (ANA2 便、その他 1 便)
- 8日 欠航便 14 便 (JAL6 便、ANA8 便)
- 9日 欠航便 2 便 (JAL2 便)

#### (7)自動車 (7/10 06:00 時点)

##### ○運休状況等

- ・高速バス：運休、一部運休なし
- ・路線バス：運休、一部運休なし
- ・宅配事業者：大手 2 事業者において一部地域で集配遅延

#### (8)海事 (7/10 5:00 時点)

##### ○運休状況等

- ・ 6 事業者 6 航路運休又は一部運休

#### (9)港湾 (7/10 6:30 時点)

- ・熊本港(熊本県)の泊地に少量の漂流物(流木等)を確認し、熊本県により漂流物の回収作業中。港湾利用に支障なし。
- ・長洲港(熊本県)の航路及び泊地に漂流物(流木等)を確認し、熊本県により漂流物の回収作業実施予定。小型船の利用に支障あり。

#### (10)下水道 (7/10 7:00 時点)

○山口県下関市：マンホールポンプ 2 基が浸水 (応急対応済)

○熊本県益城町：管路(汚水)が一部破損 (応急対応済)

処理場 1 箇所が浸水 (応急対応済、水処理機能は問題なし)

○宮崎県宮崎市：管路(汚水)が一部破損 (応急復旧済)

○山口県美祢市：污泥処理施設 1 箇所が浸水 (応急対応済、水処理機能は問題なし)

マンホールポンプ 3 基が浸水 (1 基復旧済、2 基応急対応済)

#### (11)公園・都市 (7/10 7:00 時点)

○都市公園：8 施設被災 (京都府 1、山口県 3、福岡県 1、熊本県 2、宮崎県 1)

#### (12)観光 (7/10 07:00 時点)

- ・大分県由布市の宿泊施設 1 軒で泥水流入による被害
- ・愛媛県松山市の宿泊施設 1 軒で浸水等による被害
- ・佐賀県武雄市の宿泊施設 2 軒で浸水等による被害

#### (13)その他(海岸、物流)関係の状況

- ・被害情報なし

## 5 国土交通省の対応

### (1) 災害対策本部会議等

○国土交通省災害対策連絡調整会議（6/29、7/3、7/4、7/6）

### (2) 記者会見等

○合同記者会見（福岡管区气象台、九州地整 6/30 11:00、7/7 14:00、  
広島地方气象台、中国地整 7/7 14:00、  
気象庁、水管理・国土保全局 7/10 7:40）

○共同取材（気象庁、水管理・国土保全局 6/30 14:00、7/7 11:00）

### (3) ホットライン構築状況

北陸、中部、中国、四国、九州の 102 市町村とホットラインを構築

（新潟県 2、富山県 1、石川県 2、長野県 1、岐阜県 4、島根県 5、山口県 19、愛媛県 8、福岡県 10、佐賀県 9、  
熊本県 17、大分県 4、宮崎県 9、鹿児島 11）

### (4) TEC-FORCE 等【本日 28 名派遣】（のべ 325 人・日、日最大 40 人 7/6）

○リエゾン：2 県へ 4 名を派遣中（福岡県庁 2、佐賀県庁 2）

○JETT：5 県 1 市へ 12 名を派遣中

○被災状況調査班等：12 名を派遣中

- ・山口県内において、中国地整による河川、道路の被災状況調査を実施。
- ・熊本県内において、九州地整、国総研、土研による被災状況調査等を実施。

○ヘリコプターによる被害状況調査

- ・防災ヘリ（おりづる号）山口県を調査 7/2
- ・防災ヘリ（はるかぜ号）福岡県、熊本県を調査 7/3

### (5) 災害対策用機械等の出動（のべ 52 台・日、日最大 11 台 7/1、9、10）

- ・散水車（給水装置付）1 台（中国）を山口県美祢市に派遣。（7/1～現在）
- ・排水ポンプ車 8 台（四国）を愛媛県松山市、大須市内に派遣。（7/1～7/2）
- ・排水ポンプ車 2 台（九州）を熊本県益城町内に派遣。（7/4～7/5）
- ・排水ポンプ車 3 台（中国）を山口県宇部市、山口市、防府市内に派遣。（7/8～現在）
- ・照明車 3 台（中国・四国）を愛媛県松山市、山口県下関市内に派遣。（7/1～7/2）
- ・照明車 1 台（中国）を山口県萩市内に派遣。（7/7～現在）
- ・排水ポンプ車 1 台（九州）を福岡県久留米市内に派遣。（7/9～現在）
- ・照明車 1 台、排水ポンプ車 1 台（九州）を島根県江津市内に派遣。（7/9～現在）
- ・清掃車 2 台（中国）を山口県下関市に派遣。（7/9～現在）
- ・排水ポンプ車 1 台（九州）を佐賀県多久市内に派遣。（7/10～現在）

## 6 気象庁の対応

○気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒を呼びかけている。

- 気象庁本庁では、6/29 に報道機関に対し気象解説を実施。また、6/30、7/7 には水管理・国土保全局と合同で報道機関に対し解説を実施。
- 各地の気象台は、JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣（のべ 184 人・日）やホットライン、地方整備局等との合同での大雨に関する記者会見等により警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を行っている。

## 7 海上保安庁の対応

### (1) 対応状況

○7月9日午前8時30分、七管本部に対策室を設置。

○巡視船艇及び航空機が発動に備え即応待機中。

### (2) その他

○現在までのところ、自治体からの要請等なく、引き続き確認中。

○海上における被害情報なし。

## **8 国土技術政策総合研究所・（国研）土木研究所の対応**

○熊本県上益城郡山都町内の国道 445 号金内橋落橋現場調査に、熊本県の要請（九州地方整備局経由）を受け、道路構造物の専門職員を派遣（7/6：国総研 1 名、土研 3 名）

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461